

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースピアノ・キーボード専攻											
専攻実技2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	杉本清隆			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
卒業時にビジネスベースでのデモ演奏作品が発表できることを見据え、作品制作関連授業、ビジネス関連授業と連動しながら、講師によるプロデュース、メンタリングを重視した実技授業とする。そのための基礎的な演奏スキル、基礎的な理論の習得、様々なジャンルのアプローチを体得するなかで、オリジナリティーの追求とビジネスベースでの発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
基礎的演奏力の体得、プレイヤーとしての多角的な知識の習得、オリジナリティーの確立を目標とする。講師は演奏スタイルを学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを掲示し、スキルをブラッシュアップしてゆく。経済的基盤または社会的基礎における再現性、継続性が見込める作品の制作や活動を見据えた知識とスキルの習得が最上位目標となる。											
授業方法											
授業は一人一台キーボードを使用して行います。各テーマに沿った課題のレクチャー、練習、アドバイスをし、個別最適化された課題を発見します。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント、講師作成リードシート											
回数	授業計画										
第1回	マイプロジェクトに合わせた授業（アンサンブルにおいて留意する点の考察）										
第2回	マイプロジェクトに合わせた授業（スムーズにアンサンブル演奏をアップグレードしていく為に必要な点を学ぶ）										
第3回	マイプロジェクトに合わせた授業（アイコンタクトを取る為出来るだけ手元を見ずに演奏出来るようにする その1）										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースピアノ・キーボード専攻	
専攻実技2	
第4回	マイプロジェクトに合わせた授業（アイコンタクトを取る為出来るだけ手元を見ずに演奏出来るようにする その2）
第5回	マイプロジェクトに合わせた授業（他楽器のアプローチに合わせた演奏の考察 その1）
第6回	マイプロジェクトに合わせた授業（他楽器のアプローチに合わせた演奏の考察 その2）
第7回	マイプロジェクトに基づき中間発表を行う その1
第8回	マイプロジェクトに基づき中間発表を行う その2
第9回	マイプロジェクトに合わせた授業（パフォーマンスについての考察）
第10回	マイプロジェクトに合わせた授業（衣装についての考察）
第11回	マイプロジェクトに合わせた授業（出来る限り暗譜をし演奏出来る その1）
第12回	マイプロジェクトに合わせた授業（出来る限り暗譜をし演奏出来る その2）
第13回	マイプロジェクトに合わせた授業（出来る限り暗譜をし演奏出来る その3）
第14回	まとめ 1
第15回	まとめ 2

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースギター専攻	
専攻実技2	
第4回	楽曲に合わせた練習 1。アドバイスと必要な技術の説明。
第5回	ソロ構築 1 メジャースケールとマイナースケール
第6回	ソロ構築 2 メジャースケールとマイナースケールのポジション移動
第7回	楽曲に合わせた練習 2。アドバイスと必要な技術の説明。
第8回	フィンガーピッキングとソロギター 2
第9回	フィンガーピッキングとソロギター 2
第10回	自作曲または課題曲の演奏 1
第11回	自作曲または課題曲の演奏 2
第12回	レコーディング実習その 1。音作りとモニター環境作り。
第13回	レコーディング実習その 2。正確なリズムとピッチでの録音。
第14回	レコーディング実習における各自の問題点の修正。
第15回	まとめ

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースベース専攻											
専攻実技2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	永田範正			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター				
授業概要											
卒業時にビジネスベースでのデモ演奏作品が発表できることを見据え、作品制作関連授業、ビジネス関連授業と連動しながら、講師によるプロデュース、メンタリングを重視した実技授業とする。そのための基礎的な演奏スキル、基礎的な理論の習得、様々なジャンルのアプローチを体得するなかで、オリジナリティーの追求とビジネスベースでの発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
基礎的演奏力の体得、ベーシストとしての多角的な知識の習得、オリジナリティーの確立を目標とする。講師は演奏スタイルを学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを掲示し、スキルをブラッシュアップしてゆく。経済的基盤または社会的基礎における再現性、継続性が見込める作品の制作や活動を見据えた知識とスキルの習得が最上位目標となる。											
授業方法											
楽器のチューニング、ウォーミングアップ等の準備をしたうえで、練習フレーズでのスキルアップ、読譜による既存ベースラインの習得と初見演奏の訓練、リードシートを見てオリジナルのベースライン作り等をおこなう。授業外で作成した自作曲のブラッシュアップ、アンサンブル授業やショーケースでの担当曲の演奏アドバイス、自主的なバンド活動等における演奏のアドバイスもおこなう。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
講師作成のリードシート、課題曲のリードシート。											
回数	授業計画										
第1回	16分音符主体の読譜をもとにした有名なベースラインの演奏その1。										
第2回	やや複雑なキーの読譜をもとにした有名なベースラインの演奏その2。										
第3回	テンション系コードネームの読み方とコードの分散和音。										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースベース専攻	
専攻実技2	
第4回	チャーチモードスケールの習得。
第5回	リードシート初見でのベースライン作り (Key=C) その1。
第6回	リードシート初見でのベースライン作り (Key=C) その2。
第7回	授業内理解度チェック。
第8回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその3。
第9回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその4。
第10回	ワンコードのアドリブ演奏によるベースソロ。
第11回	レコーディング実習その1。音作りとモニター環境作り。
第12回	レコーディング実習その2。正確なリズムとピッチでの録音。
第13回	レコーディング実習における各自の問題点の修正。
第14回	前期、後期の習得内容の授業内発表。
第15回	後期のまとめ。

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースドラム専攻											
専攻実技2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	杉本清隆			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
卒業時にビジネスベースでのデモ演奏作品が発表できることを見据え、作品制作関連授業、ビジネス授業関連と連動しながら、講師によるプロデュース、メンタリングを重視した実技授業とする。そのための基礎的な演奏スキル、基礎的な理論の習得、様々なジャンルのアプローチを体得するなかで、オリジナリティーの追求とビジネスベースでの発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
基礎的演奏力の体得、プレイヤーとしての多角的な知識の習得、オリジナリティーの確立を目標とする。講師は演奏スタイルを学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを掲示し、スキルをブラッシュアップしてゆく。経済的基盤または社会的基礎における再現性、継続性が見込める作品の制作や活動を見据えた知識とスキルの習得が最上位目標となる。											
授業方法											
授業は練習パッド、ドラムセットを使用して行います。各テーマに沿った課題のレクチャー、練習、アドバイスをし、個別最適化された課題を発見します。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント、講師作成リードシート、ドラムスティックは各自で用意すること											
回数	授業計画										
第1回	ヒヤリング疑問点の解消とスケジュールの確立										
第2回	初見譜面で演奏をする その1										
第3回	初見譜面で演奏をする その2										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースドラム専攻	
専攻実技2	
第4回	ヒヤリングし疑問点の解消またはオリジナル作品アレンジ
第5回	曲のストーリーをドラムアレンジで考える
第6回	いろいろなビートに合わせて演奏をする（同機演奏）
第7回	オリジナル作品をマイナスイン音源で演奏する
第8回	中間発表と理解度チェック
第9回	ドラムソロ曲紹介と演奏
第10回	ドラムソロの作り方
第11回	曲に合わせてドラムソロを演奏する
第12回	レコーディング知識、機材紹介、準備
第13回	発表、レコーディング撮影し、世界へ向けて発信できる素材を作る
第14回	レコーディングや撮影、発表での感想、疑問点、良かった点、反省点のあらいだし
第15回	後期まとめ